

鹿児島大学 P-SEG講演会 July, 20 at 8:50 am

夢、希望、挑戦、そして次に繋げ

日本の中小企業のグローバル化をシリコンバレー流に考える

共通教育 1号館 2F 125教室



講師 大永英明 (おおながえいめい)

CEO&President, Innovation Matrix, Inc

モーションコントロールと視覚技術を専門に、アジア太平洋地域とアメリカでの製品販売、システム統合、製品開発サービスを提供するシリコンバレーの新進企業、Innovation Matrix社の共同創設者、鹿児島大学インターンシップ受け入れに協力

人は、皆、夢を描き希望をもって将来の職業につきます。しかし、現実の忙しさによって初心を見失うこともあります。その思いへの原点は夢を見出した時点にあります。世界で経済強国であった日本が再度元気になるには中小企業のグローバル化が必要です。次世代を担う若い起業家による新ベンチャーも必要です。しかし、それは何のためなのでしょう？それは社会を豊かにするための他ありません。

略歴

大永英明 (おおなが えいめい)、 Eimei Onaga
CEO & President, Innovation Matrix, Inc.

2004年にロボット、モーションコントロールと視覚技術を専門に、アジア太平洋地域とアメリカでの製品販売、システム統合、製品開発サービスを提供する Innovation Matrix社を創業。最近、米国物流ロボットメーカー、Fetch Robotics, Inc.の日本、アジア、そしてオーストラリアの総代理店として物流ロボットビジネスを展開中。また、Muscle Robotics, Inc.、VPとして、マッスル社（日本）の介護ロボットのアメリカでの事業化に従事。<http://www.innovation-matrix.com/japan/company/j-onaga.html>

創設前は、米国Adept Technology社（現在、オムロン）のアジア太平洋地域営業部門のディレクターを務め、同社日本支社、法人を設立。同部門を、アジア進出の米国産業ロボット製造企業のトップに押し上げるのに貢献。また、台湾と中国でも新製品の情報提供、流通網の設立などを行い、OEMとネットワーク統合を行う。

1970年にアメリカに留学。卒業後、世界初のロボットメーカー、Unimation, Inc. に就職し、ロボット制御装置の開発に携わる。また、リレーゾンエンジニアとして、川崎重工とUnimation社との技術トランスファーに深く関与する。専門はコンピューターアーキテクチャーと制御。アメリカにおいて、17の特許品を発明または共同発明。

40数年、ロボット一筋に日米のロボット業界で技術およびビジネスに貢献。専門分野以外では、2010年に日本中小企業のアメリカ進出を支援する非営利団体 Japan America Business Initiatives – Silicon Valley (JABI-SV) を共同設立。これまで、自分の培った日米アジア間での交渉や、展開ニーズの為にソリューションの提供、コネクション等を中心に、JABIの目指す日米間の架け橋となる活動に貢献中。

www.jabi-sv.org

シラキュース大学電気工学部卒業

ブリッジポート大学大学院電気工学修士卒業